

6月から、無料タクシー・バス券を支給へ

山崎市議が初当選以来、くりかえし質問

山崎市議には、高齢の人や障害のある人などから「出かけるために、タクシーを利用することが多い。タクシー代を補助してほしい」という声が寄せられています。



出かけることが元気の素です

山崎市議は8年前の初当選

以来、くり返し質問してきました。当初、平戸市は後ろ向きでしたが、この6月から高齢者を対象に、支給がスタートすることになりました。対象者をひろげたり、支給金額を増やすなど、今後も制度の拡充が求められます。

【山崎】高齢者への無料タクシー券・バス券の支給が大きいくひろがっている。私は8年前の初当選以来、他の自治体の例も紹介して、くりかえし求めてきた。

南島原市では、75歳以上年間1万2000円分、松浦市では、70歳以上で、離島に

市長など3役の退職金が大幅アップ

この間、市長など3役や市議の給料・ボーナスの引き上げが行われてきました。それにもない、3役の退職金（4年ごとに支給）が大幅にアップしていることが明らかになりました。

鹿児島県曾於市（共産党員市長）では、市長退職金をゼロにするなど、全国で首長退職金を見直す動きがおこっています。

8年前の黒田市長の初当選時の退職金	
市長	1,708万円
市副市長	861万円
市副教長	535万円
現在の退職金	
市長	1,941万円
市副市長	956万円
市副教長	594万円

ける小さな平戸市で、4年ごとに多額の退職金という制度は見直すべきです。市議には、退職金はありません。

住む人には8000円、離島ではない人には5500円を交付している。平戸市でも、やっとスタートする。どういう事業になるのか。

【市民福祉部長】75歳以上、または70歳以上で運転免許証を自主返納した人が対象になる。しかし、介護老人福祉施設などに入所している人は対象外になる。

1枚1000円のおでかけ券を、1人に50枚支給する。なお、75歳以上で、老人クラブやいきいきサロンなどに加入している人は10枚、離島の人には、さらに10枚を加算し、最高で70枚を支給する。タクシーやバスの費用を助成することにより、高齢者の外出の機会の拡大と、社会参加及び健康増進を促し、福祉の向上に資することを目的と



こいのぼり

介護保険料 10%引き上げへ

3月市議会では新年度予算案など61議案が審議され、いずれも可決されました。

山崎市議は、市民のたいせつな税金は暮らしや子育て支援などに使うべきだ、という立場から、一般会計予算案に反対しました。

また、加入者に大きな負担を求める国保会計案と、保険料が10%の引き上げになる介護保険会計案にも反対しました。国保・介護は国の制度にもとづくものですが、市民の暮らしを考え、一般会計からの繰り入れで保険料の負担を軽減すべきです。

計算ミスで、国保会計に1億円の大穴

国保税の引き上げではなく、一般会計からの繰入れを

昨年度（2017年度）の国民健康保険会計に、1億円の不足が生じていることが明らかになりました。国保税の改定にあたって、国保加入者数を間違えて計算したことが原因です。

昨年度、国保税は13%の引き上げでしたが、計算ミスがなければ、20%をこえる引き上げになっていました。20%というのは、山崎市議が「山崎かずひろの市議会だより」で指摘していたとおりです。

市は、1億円の不足を一般会計からの借り入れで補いました。返済のために、国保税をふたたび引き上げることも予想されます。国保税引き上げで、計算ミスという大失態のつけを市民に押し付けることは許されません。他の自治体が行っているように、一般会計から国保会計へ繰り入れを行い、市民の負担を軽減すべきです。